

長野県PTA 連合会 子育て委員会主催
令和2年度陽だまり懇談会報告書



日 時：令和2年10月24日（土）13：00～16：00

会 場：信濃教育会館講堂他会議室等

参加人数：33名（郡市保護者代表15名 県PTA役員・事務局 18名）

開催趣旨：PTA会員相互の対話を通じて、子育ての悩みや不安の解消や望ましい保護者としての在り方について学ぶとともに、コロナ禍において、私たちにできることは何かを模索して、家庭教育の在り方を考えていく機会とする

～令和2年度「陽だまり懇談会」を終えて～

コロナ禍において、本年の陽だまり懇談会の開催に当たり、県内と開催場所の感染症拡大の状況を見ながら、開催に向けての判断基準と決定日時を明確にして進めて参りました。当初は安曇野PTA联合会様との共同開催でしたが、三密を避けるための会場設営の課題などから、私たち長野県PTA联合会の主催で開催することになりました。安曇野PTA联合会の皆様には、準備段階では大変お世話様になりましたことに心より御礼申し上げます。

今回の陽だまり懇談会のテーマに「家庭教育」を挙げさせていただきました。従来より「家庭教育」は私たち保護者にとっては親としての責任でもあり重要であることは認識されているかと思えます。各家庭によって、そのやり方はそれぞれ特徴があり、常に悩みも多い訳ですが、子どもたちが社会に出るにあたり、生きる力を身に着けて自立していった欲しいという願いは、私たち共通の想いだと思えます。共働き世代も多くなってきている今、私たちは忙しい社会の中で、子育てをして参りましたが、このコロナにおいて、今一度「家族」の有難さ、「家庭教育」の重要性を感じる事ができました。懇談会では、この「家庭教育」の在り方を考え、保護者として今何ができるのか模索してきました。是非多くの会員の皆様に、この報告書や当日の伊藤子育て委員長のプレゼン資料などをご覧いただき、会員の皆様に「家庭教育」の在り方や重要性を感じていただき、それぞれにおける子育てにご参考にさせていただければ幸いです。

感染症拡大防止の徹底を図り、開催をさせていただきましたが、やはり実際集まったの懇談会は、オンラインでの開催と比べて充実した内容になり、学びの機会としては重要であると感じます。しかし、コロナとはしばらくお付き合いしていかなくてはならず、PTAの研修会・講演会などもオンラインでの開催や、実際の参加者とオンライン参加でのハイブリッド型など学ぶ機会の提供に工夫が必要であります。今後、長野県PTA联合会でもコロナ禍における学び方に関して新しい挑戦をしていき、県内の皆様方とも情報の共有を図って参りたいと思えます。

最後になりますが、参加していただいた皆様、そして伊藤委員長中心として担当していただいた子育て委員会の皆様に感謝と御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

令和2年12月吉日
長野県PTA联合会
会長 熊谷 弘

【次第】

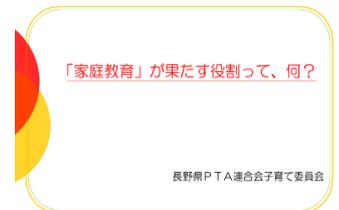
- 1 アイスブレイキング
- 2 開会行事 ①開会の言葉 ②PTAの歌 ③熊谷会長挨拶 ④本日の予定・趣旨説明
- 3 研修Ⅰ 「家庭教育が果たす役割って、何？」 子育て委員会委員長 伊藤美知子
- 4 研修Ⅱ グループ別懇談会～結（ゆい）カフェ～
- 5 発表
- 6 閉会行事 ①総評（子育て委員会教師代表 大塚永利子先生）
②振り返り（子育て委員会委員長） ③閉会の言葉

■ 研修Ⅰ 「家庭教育が果たす役割って、何？」 子育て委員会委員長 伊藤美知子

「家庭教育」の重要性と意味、理想と現実など、PowerPoint を使って行いました。
基本的な生活習慣、社会的なマナーやルールを学ぶ場が家庭にはあります。
今回のコロナ休業を経験して見えた課題を例示しながら「家庭教育」の重要性について説明しました。

【家庭教育の重要性】

家庭教育を通じて親自身学びや気づき→子どもと共に成長→子どもが一人の人間として自立
家庭教育を難しく考えず、できることから我が家の家庭教育を一步步
周りの協力、学校や地域と連携して子育て
「どんな大人になって欲しいか？」その想いを家庭教育に取り込む



■ 研修Ⅱ グループ別懇談会～結（ゆい）カフェ～

5つのグループに分け、感染予防を考え会場を講堂と会議室で行いました。
参加される皆様共に改めて「家庭教育」について考え、未来を担う子ども達のために、何が
できるか？テーマを設けグループ別懇談会で掘り下げていただけました。

1) 説明

2) グループ別懇談会実践【55分】

※書き出す内容は、テーマごとに色画用紙を使用します。

テーマ①コロナ休業で感じた家庭教育 取り組んだ家庭教育【15分】

★16郡市保護者代表の皆様は、「家庭教育」の認識はあるかと思いますが、一人の保護者としての実践されたことや感じたことを書き出してくださいました。

テーマ②「家庭教育」を向上するためには？【15分】

★より多くの保護者に家庭教育の重要性を知ってもらうために、どうすれば良いか？考えてくださいました。

テーマ③PTA組織だからできること【25分】

★テーマ②より郡市PTA→単位PTA→学級PTAに広げる方法や悩みや話合ったりできる保護者の環境を作る方法をそれぞれの郡市PTAに置き替えて、考えていただきました。

3) 発表に向けて③について、グループ・個人でまとめ【15分】

■ 発表

16郡市保護者代表の皆様に、グループ別懇談会より各郡市PTA「活動目標」をお願いして、発表していただきました。コロナ禍において、様々なPTA活動が制限もあると思いますので、無理のない可能な範囲での「活動目標」の設定をお願いしました。

【「活動目標」に対して一緒に考えたり、振り返りの機会を設けるなど、

長野県PTA連合会子育て委員会は引き続きお手伝いします。】

それぞれの「活動目標」に対して、令和3年3月頃に16郡市代表からの結果や成果を聞かせていただき、合わせて、コロナ禍における16郡市のPTA活動（保護者代表委員会、単P学級懇談会）の実情もお願いして参ります。尚、令和3年4月の「陽だまり研修会」で、新年度の皆様へ16郡市活動の結果や成果をお伝えする予定です。

今回の陽だまり懇談会の目的

今年度の陽だまり懇談会は、安曇野市PTA連合会家庭共育委員会様と共同開催の内容で計画をしておりましたが、コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、長野県PTA連合会子育て委員会主催として開催致しました。

開催にあたり、規模の縮小、参加者の制限、ソーシャルディスタンスなどの感染予防策を踏まえた内容で行いました。

コロナ禍においての学校休業で「家庭教育」の重要性が求められてきた状況下で、改めて「家庭教育」について、参加される皆様と共に学び考える機会として考えました。

また、令和2年4月の陽だまり研修会が中止となったことを含めて、今回の陽だまり懇談会は「アイスブレーキング」「ワールドカフェ」なども学んでいただける内容も加えました。

答えや結論、定義などを作らず、陽だまり懇談会に参加されて得たものを各郡市PTAの今後の活動に活かしていただければ幸いです。

沢山のご意見をいただき、心より感謝申し上げます。

次のページからはテーマごとにまとめております。

テーマ①コロナ休業で感じた家庭教育 取り組んだ家庭教育

★16郡市保護者代表の皆様は、「家庭教育」の認識はあるかと思いますが、一人の保護者としての実践されたことや感じたことをお願いします。（色画用紙：水色）

【全体】

- 子どもと相談しながら、タイムスケジュールの作成をした
- ホワイトボードにやることを記入して、一日の流れを子どもが決めるようにした
- 早寝、早起き、食事の時間は変えない
- 朝起きる時間を決めて、朝食を皆で食べるようにした
- 平日は学校と同じ時間に起床した
- 学校に行っているように、同じ時間での生活スタイルで過ごした
- 起床時間、就寝時間を決めた
- リズムある生活を心がけた
- 最初の一週間は、だらけた生活をしてしまった
- 食事作りや片付け、洗濯など分業し、家のお手伝いを積極的に携わってもらった
- 昼食を本人（中学生）に作らせた
- 庭キャンプ（子どもだけで、テント設営 説明書を読んで考える力を）をした
- 生活力、生きる力を（勉強より一人でも生きていけるように）育むように工夫した

【学習】

- 自主学習の大切さを親子で考えた
- 午前中宿題、午後は自由など大雑把な予定を組んだ
- 午前中は学習の時間、午後は身体を動かす時間と決めた
- 長男を頭として兄弟全員で勉強会をした
- 児童クラブに行っていたので、「宿題をどこまでやるか」決めてあげた
- 帰宅後、一日の進み具合を確認した
- ネットの付き合い方の勉強した
- ケーブルTVで学習内容の放送があり、それを家族で視聴した
- 家での学習中はテレビをつけないようにした



【コミュニケーション 他】



- ウォーキング、外でバトミントンやテニスと一緒にいった
- 食事を三食、一緒に食べた
- 一緒にテレビを観たり、ダラダラする時間を作った
- 親子で料理を作った • 一緒にゲーム（トランプ等）で遊ぶ
- 生産者を助けるために、花を買って家に飾った
(子どもにも生産者の大切さを教えた)
- リモート〇〇のための環境整備、ネットのルール決めをした
- 自分の小さい頃の写真を見せ、今まで話せなかったことを話せ、親子の信頼関係ができた
- その日あったこと、ニュースなど一緒に食事をしながら会話をした

テーマ②「家庭教育」を向上するためには？【15分】

★より多くの保護者に「家庭教育」の重要性を知ってもらうために、どうすれば良いでしょうか？

ご意見をお願いします。（色画用紙：きみどり）

【コミュニケーション】

- ・日常から子どもとのコミュニケーションや対話を大切に、その中でこれから社会に出てやっていけるようにしていくのが重要
- ・くだらない話を沢山する中で、思っていること、悩んでいること、つまづいていることを知る
- ・子どもとのコミュニケーションを取り、子どものことを知る
- ・保護者は常日頃から意識して、子どもとの会話を大切にする
- ・子どもが壁に当たったり、悩んだりしたときになどに対話をして、一緒に問題を解決していく



- ・子どもと同じ目線で考える
- ・困ったことがあったら答えを教えずに対話する
- ・親の意見を押し付けない
- ・子どもと同じ体験をする
- ・家族や周りの人とコミュニケーションを取る
- ・対話、コミュニケーションが大切だということを、講演会などで行う機会を提供
- ・PTA講演会等で親としても学び続ける

【家庭/学校/地域】

- ・学校教育と家庭教育の違いの理解する場の提供が必要
- ・学校の先生が「家庭教育」に何を求めているか、保護者が「学校教育」に求めていることを調査する
※2点のすり合わせが必要
- ・つながり（地域 親戚）を作ることが大切
- ・各家庭の価値観の違い…良い悪いではなく、それぞれを認め自分の器を広げる
- ・話す…情報交換…個々で悩んでいるより皆に話して、解決できると良い
- ・毎朝フラワーロードの草取りをする親子を見かけるので、目で見たい姿を皆に知らせる
- ・親がいなくなったとき（災害、ケガ、入院など）自分で生きていけるのか考える
- ・地域の方の協力、地区などのコミュニケーション活動を通じて子どもや家庭との関わりをもつ
→いざというとき、助けてもらえる

【日常生活】

- ・靴は片付ける
- ・洗濯物はTVを観る前に片付ける
- ・寝る前に片付ける
- ・自分から挨拶をする
- ・「ありがとう」を言う
- ・嘘をつかない
- ・人の悪口は言わない
- ・自分が言われて嫌なことは人言わない



テーマ③PTA組織だからできること【25分】

★テーマ②より郡市PTA→単位PTA→学級PTAに広げる方法や悩みや話合ったりできる保護者の環境を作る方法をそれぞれの郡市PTAに置き替えて、お考えをお願いします。（色画用紙：きいろ）

【学級懇談会】

- 学級PTAの参加者が少ない場合、どうしても出来ない
- 学級懇談会に参加してもらえるように学校の先生と協力しながら働きかける

【アイスブレーキング ワールドカフェ】

- アイスブレーキングを行って、分散会を話しやすくする
- アイスブレーキングやワールドカフェなどを行って和やかな雰囲気作りに努める
- 郡市P単位、学級PTAでも分散会に分かれてのアイスブレーキング等で打ち解けてからの話し合い
→すぐに話しやすい雰囲気になる

【研修会】

- 講演会の内容をPTAに関心のない人でも聞きやすい身近な内容を考える
- 郡市PTAで講演会→分科会を行い、少人数で話し合いをすることで今まで話せなかった内容など、話せる機会を増やしたい
- 身近なところから講演会の開催
- 大人と子どものキャリア教育について考える
- 父親の参加が出来る事業の工夫

【情報共有】

- 県内には大中小のPTAがあるので、それぞれの地域の活動（成功や失敗）を共有する
- 大人の学校作り…学びの場作り（ネット環境 大人の友達作りの場）
- 情報交換の場（リモートでも良い）を構築する
- 情報共有の必要性を伝える
- 挨拶運動、交通安全の見守りなど、どんな要素があるか情報交換する

【発信】

- 地域のお便りや新聞
- PTA新聞に悩みを出してもらい、それらに答え考えや解決の事例を出す
- 読んでもらえるような広報誌を作る

【提案】

- スポーツクラブ、習い事の場、家に遊びに来たときなど 様々な場で広げていく



発表に向けて③について、グループ・個人でまとめ

★シートに記入してもらい、一部はコピーし子育て委員会で預かります。（グループ別懇談終了後）

☆16郡市保護者代表の皆様は、「活動目標」として設定をお願いします。後ほど、発表していただきます。

発表をお願いするにあたり、「活動目標」を色画用紙（ピンク）にもご記入をお願いします。

★「活動目標」に対してのサポートやアドバイスを県PTA連合会がお手伝いします。

☆コロナ禍において、様々なPTA活動が制限もあると思いますので、無理のない可能な範囲での「活動目標」をお願いします。

まとめられた内容を基に「活動目標」を発表いただきました。

- ・分科会に分かれ、少人数のグループで身近なテーマ、悩みなど少人数のグループでアイスブレイキングを取り入れながら、話し合う研修会を行っていかこうと思う
- ・講演会や懇談でアイスブレイキングを行い、分散会で日常の悩みなど身近な内容について会話をする
- ・少しずつPTAに関心をもってもらう
- ・分散会ではテーマを決めてグループで一つにまとめる（協力することで話しやすくなる）
- ・郡市P、単P、学級Pでも少人数に分かれての分散会の開催
- ・アイスブレイキングタイムで打ち解け懇談会の時間を多めに取り、グループ毎の発表等を取り入れる
- ・毎年PTA講演会を企画するが、県がサポートしていただけるなら子育てについて、家庭教育についての講師や情報などを教えてほしい
- ・郡市PTAで発行する会報に「家庭教育」をテーマに掲載していく
- ・令和3年度の活動内容に家庭教育を引き継ぐ（考えてもらう）
- ・郡市PTAにおいても「家庭教育」のテーマで生の意見を聞きたい
- ・自分の子どもが生活しやすくなるためにPTAがあることを知ってもらう活動や発信をする
- ・子どもの居場所がある家庭（地域づくり/子ども食堂/里親への応援について/児童相談所との連携）
→支援の必要ある子ども達へ
- ・「家庭教育」の重要性を皆で共有、認識できるような活動を行う
- ・がん、性教育のDVDを作製する
- ・「我が家の家庭教育」について話す機会を身の回りから作る



- ・陽だまり懇談会で話せたことを伝えられるような場を作ること
- ・学級PTAへの参加人数を増やすこと
- ・初対面同士でもコミュニケーションが取りやすいように、アイスブレイキングを取り入れる
- ・研修会の内容をPTA新聞に掲載する（動画も）
- ・郡市PTAで発行している「子育て支援委員会だより」で研修会の内容を伝えたい
- ・郡市PTAの研修会の中で会員同士で話し合う機会を作りたい
- ・この研修会の内容を共有できるようにしたい
- ・郡市PTAでも「家庭教育」をもう少し噛み砕いたテーマで懇談会ができるようにしたい
- ・挨拶運動、交通安全の見守りなど、どんな要素があるのか情報を共有する
- ・withコロナ社会で大勢で集まることができないが、身近な人との情報交換の中で家庭教育を聞いていく（家庭教育を振り返る機会に）
- ・学級懇談会への参加をお願いする（参加してもらうためにはどうすればいいのか）
- ・大人の話聞く、話す機会を作る
- ・お父さんの参加、異業種交流会の実施をする
- ・地域で活動することで、繋がっていくPTA活動を行う
- ・家庭での生活力やコミュニケーションを図る
- ・「家庭教育」の必要性を伝え、学ぶ機会を作っていきたい



【皆様からの感想】

- 皆さんの色々な話しが聞けて良かったです。
- なかなか集まってできないが、集まって話を聞ける機会を設けたいと思いました。
- コロナ禍の中、皆さんで取り組まれていたことが聞けて良かったです。
- 「家庭教育」の充実、必要性 子どもが一人で生きて行く力が必要だと感じました。
- 地域を巻き込んで、他年齢の子どもや家族以外の大人とのふれ合いができる活動が必要だと思いました。
- 4月に予定されていた陽だまり研修会も中止となり、今回初めての参加で、正直ドキドキして大変だと思いましたが、皆さん楽しい方ばかりで、アイスブレーキングがあったことで、その後のテーマなどの取り掛かりがしやすく、あっという間に終わってしまいました。
- 初めて参加させていただきましたが、とても有意義な会でした。コロナ禍だからこそ、「家庭教育」の大事さが見えてきたのかなと思います。親として「子どもの教育を学校に頼りすぎているのでは」と実感しました。今回の懇談会では感染症対策として「結カフェ」という形で少ない人数での情報交換でしたが面白い取り組みをして成功している単位PTAや郡市PTAもあると思いますので、更なる情報交換を試みたいと思いました。
- 設営にあたり役員の皆様にはこのような状況下での開催にあたり、色々のご苦勞もあったかと思いますが、参加した者としては貴重な時間でした。ありがとうございました。これからも長野県PTA連合会のご活躍を楽しみにしております。
- 初めて参加させていただきましたが、県内の同じ立場の子育て委員長さんと交流ができ良かったです。
- 楽しさや出会いがある反面、車で2時間（片道）かかるなど負担は大きいです。
- 参加する方は楽しいですが、県の子育て委員長さんのプレゼンテーションの様子を見て、子育てと仕事を両立されながら、あそこまでのプレゼント資料とご準備のご苦勞を思うと頭が下がります。子育て委員長さんのお話でなくとも、子育てに関するプロの講演家をお願いして勉強するとかの方がいいのでは？と思いました。
- コロナの世の中になり、オンライン参加もできれば参加しやすくなります。
- このコロナ禍の中で今日話せたことを、会議が開けない中どうやって伝えることができるのか？来年の役員に引き渡すことができるのか？と考えてしまいました。せっかく、いい話が聞けたのでどうか活かしてたいと思います。
- 動画か…すごいなあ。
- 様々な考えの方からお話を聞くことができ、自分の学びになりました。
- 「家庭教育」について話し合う機会は、保護者の間でもなかなか無いので、とても良かったです。

- P T A活動への男性（父親）の参加がなかなか進まない中、他の仕事（異業種）の話を聞く会ならば男性が多いと聞き、「これはヒントになるかも」と思いました。単Pでは今、男性副会長選出の時期ですが、そのような土台があれば男性が関わりやすくなるかもしれません。
- 父親の視点も交えて話すことができ、新たな発見がありました。
- 小グループでの研修会は話しやすく、内容も濃いものになったと思うので、このような形式で郡内の研修会をできないか検討したいです。
- 委員の方がとても熱心に運営され、P T Aの方々が自分のことを具体的に語っていただきました。
- なかなか懇談会など人が集まる機会を作れなくて、思い悩んでおりましたが開催方法など、とても参考になりました。特に分散会での個別に色分けした紙に意見を書いたりすると自分の考えもまとめ、意識することができました。
- 色々な学校の取り組み、市町村ごとに違う状況などの意見交換もできたので、皆さんの意見を参考にし、これから予定している委員会の開催方法を模索していこうと思います。
- 貴重な経験をさせていただきありがとうございました。
- 初めてアイスブレーキングを体験しましたが、話しやすい雰囲気ですぐに夢中になり時間があっという間でした。
- 住んでいる地域や環境により子育ての仕方が様々なことを知りました。色々な方の意見が聞いて良かったです。
- 郡市Pでも、色々な方と対話し学びや気づきの場を作れればと思います。
- 最初は緊張していたけれどアイスブレーキングを初体験し、楽しく話ができて、時間があっという間でした。
- 「家庭教育」という身近で重要なテーマで、子ども達のために自分達ができることを考え、色々な意見を聞いて、とても勉強になりました。
- 郡市P、単Pでも「家庭教育」について学ぶ機会が作れるといいと思いました。
- 色々な考える時間になりました。
（常時考えられませんが、こういう時間は貴重です）



～参加された皆様へ～

お忙しい中、また遠方より陽だまり懇談会にご参加いただきありがとうございました。

皆様のご理解とご協力のもと、無事に陽だまり懇談会が開催できましたこと、心より御礼申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、PTA活動が例年通り企画や運営が出来ない状況が続いております。皆様におかれましても、不安や焦りが大きいのではないかとお察し致します。長野県PTA連合会も今年度は計画しております様々な活動や行事が制限または変更を余儀なくされております。

陽だまり懇談会以降、長野県内は新型コロナウイルス感染症第3波が押し寄せており、子ども達の学校生活、そして私達の生活は常に厳しい毎日をご過ごしております。「当たり前の日常」をもう一年近く、過ごすことが出来なくなりました。ただ、このような厳しい状況でも、子ども達は日々成長しております。

もしかすると、コロナがなければ、学校休業がなければ、今回の陽だまり懇談会で「家庭教育」をテーマに設けなかったかも知れません。

私自身、PTA役員として長年携わり「家庭教育」の重要性は分かっているつもりでしたが、「何をどうすればいいのか？」正直、模索しながら子育てをしておりました。

例年であれば様々な研修会や勉強会などで「家庭教育」について学ぶ機会がありますが、今現在のコロナ禍では学ぶ機会が少なくなっています。特にコロナ禍では、子ども達が家の中で家族と過ごす時間が増え、「家庭教育」の重要性が更に高まっていると感じます。そんな中で陽だまり懇談会で皆様と共に学ぶ機会を得られたことは貴重な学びになったと思います。

当日は子育てやPTA活動に対して熱い想い、前向きなお考えやお気持ちがある皆様がお集まりくださったことに、「チーム信州PTA」が未来ある子ども達のために大きく前進していることを感じました。

今回の陽だまり懇談会で感じたことを、一つでも良いので皆様の郡市PTA、そして単位PTAへ活かしていただければ嬉しいです。また限られた時間の中で、「活動目標」の発表をいただきました。今後は長野県PTA連合会子育て委員会を中心に、皆様の「活動目標」の実現のため共に考えて参りたいと思います。

最後に、この陽だまり懇談会を開催するにあたり約半年間、熊谷会長はじめ副会長、委員会メンバー、大島顧問、森前委員長、そして事務局とで開催に向けて進めて参りました。準備をする中でそれぞれに我が家の「家庭教育」を考え、振り返る機会を得ることができました。私自身も「もっと沢山、子ども達と関われば良かった」と反省しつつ、「まだ間に合う」と信じて、子ども達と向き合っていこうと思います。

要職の任期があと数ヶ月かと思いますが、コロナに負けない様に、皆様のご活躍を心よりご祈念申し上げます。

そして、何よりもお身体を大切に、ご自愛ください。



令和2年12月吉日

長野県PTA連合会

子育て委員長 伊藤 美知子